

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【公表番号】特表2010-523716(P2010-523716A)

【公表日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-028

【出願番号】特願2010-503256(P2010-503256)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 K 31/5513 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 K 31/5513

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月11日(2011.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベンゾジアゼピン拮抗薬、部分ベンゾジアゼピン作動薬、又はこれら両方を含む医薬有効成分を含有する、精神遅滞、ダウン症候群、記憶喪失又は学習障害を治療するための組成物。

【請求項2】

前記組成物が、経口組成物又は舌下若しくは口腔組成物である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記医薬有効成分が、少なくとも一つのベンゾジアゼピン受容体拮抗薬を含み、任意的選択としては、少なくとも一つのベンゾジアゼピン受容体拮抗薬がフルマゼニルである、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

前記組成物が、単位投与剤形であり、1回当たり0.05～30mgのフルマゼニル、好ましくは、0.1～15mgのフルマゼニルを含有する、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

前記医薬有効成分が、基本的にベンゾジアゼピン拮抗薬からなり、任意的選択としては、ベンゾジアゼピン拮抗薬がフルマゼニルである、請求項3に記載の組成物。

【請求項6】

前記組成物が、単位投与剤形であり、1回当たり0.05～30mg、好ましくは、0.1～15mgのフルマゼニルを含有する、請求項5に記載の組成物。

【請求項7】

前記医薬有効成分が、少なくとも一つの部分ベンゾジアゼピン作動薬を含み、任意的選択としては、少なくとも一つの部分ベンゾジアゼピン作動薬がブレタゼニルである、請求項1又は2に記載の経口組成物。

【請求項8】

前記組成物が、単位投与剤形であり、1回当たり0.05～30mg、好ましくは、0.1～15mgのプレタゼニルを含有する、請求項7に記載の組成物。

【請求項9】

前記医薬有効成分が、基本的に部分ベンゾジアゼピン作動薬からなり、任意的選択としては、部分ベンゾジアゼピン作動薬がプレタゼニルである、請求項1又は2に記載の経口組成物。

【請求項10】

前記組成物が、単位投与剤形であり、1回当たり0.05～30mg、好ましくは、0.1～15mgのプレタゼニルを含有する、請求項9に記載の組成物。

【請求項11】

請求項1から10のいずれか一項に記載の組成物であって、当該組成物は、

・ 経口錠剤、カプレット、カプセル、ゲルカプセル、溶液、液体懸濁液若しくは急速溶解錠剤の形態、及び／若しくは、持続放出、遅延放出、パルス放出若しくは放出制御剤形である経口組成物、又は

・ 急速溶解錠剤若しくはストリップの形態である舌下若しくは口腔組成物である組成物。

【請求項12】

前記医薬有効成分が、発作誘発量以下の量であり、及び／又は、記憶増強効果、学習増強効果、若しくはこれら両方を生じるのに有効である、請求項1から11のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項13】

前記ベンゾジアゼピン受容体拮抗薬がフルマゼニルであり、0.05～30mgのフルマゼニルを一日に1～4回、好ましくは、0.1～15mgのフルマゼニルを一日に1～4回患者に投与される、請求項3に記載の組成物。

【請求項14】

前記部分ベンゾジアゼピン作動薬がプレタゼニルであり、0.05～30mgのプレタゼニルを一日に1～4回、好ましくは、0.1～15mgのプレタゼニルを一日に1～4回患者に投与される、請求項7に記載の組成物。